

ISSEIKAI



社会福祉法人一誠会

Green Days 131th

特集

地域を支える架け橋として5年目へ!



ロコと楽しい仲間たち ロコの部屋

八王子市高齢者あんしん相談センターのグッピー
～グッピーが、緊張を和らげる癒やしの空間に～

八王子市高齢者あんしん相談センター大和田の事業所内には、色とりどりのグッピーが泳ぐ水槽があります。水の揺らめきと可憐に泳ぐ姿は、相談者の心に安らぎを与えてくれます。グッピーは、メスの胎内で卵を孵し稚魚を産む「卵胎生」という珍しい特徴を持ち、生命の神秘を感じさせてくれます。



尾びれが大きく鮮やかなオス、丸みある体のメス。初心者にも人気の美しい観賞魚です

Event イベントスケジュール (6月・7月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定 ※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

6月 紫陽花ドライブ(グループホーム・看多機)／お買い物イベント(グループホーム・特養)

6月 プール開き(企業主導型保育所 かいらくえん)

7月 セタ(企業主導型保育所 かいらくえん他)

7月 流しそうめん(デイサービスセンター初音の杜)／慰霊祭(特養他)

◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和7年6月7日(土)	令和7年7月5日(土)
内容	「ツボ」を使ったからだコンディショニング	介護アロマ ～香りに癒されながら ハンドマッサージを体験しませんか～
講師	日本工学院八王子専門学校 鍼灸科 宇南山 伸氏	介護アロマコーディネーター 森野 ひふ美氏
場所	借楽園ホーム	借楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申し込みいただいた皆さまには、延期後最速でご案内させていただきます。なお、感染症予防対策として、参加者の皆さまには検温などご協力いただくこともございます。

◆地域福祉研修の開催◆

日時	令和7年6月25日(水)
内容	介護の生産性向上と加算算定について
講師	社会福祉法人友愛十字会 特別養護老人ホーム 友愛荘 施設長 鈴木 健太氏
場所	借楽園ホーム
時間	16時00分～17時30分

地域福祉に貢献するため、本会では、地域との協働、地域へのアプローチに向けた知識やスキルを習得する。本会主催の研修や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申し込みいただいた皆さまには、延期後最速でご案内させていただきます。なお、感染症予防対策として、参加者の皆さまには検温などご協力いただくこともございます。



職員紹介～注目の人～

ここでは、一誠会の職員を紹介していきます。

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野
看護師

荒木 恵美子

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野で、ご利用者の健康管理・増進のお手伝いをさせていただき、11年となりました。今後も、地域に根差した施設の一員として、看護業務に取り組んでいきます。



第二借楽園ホーム
介護職員

野島 裕太

これまでデイサービスで5年ほど経験を積んでまいりました。その経験を生かし、より質の高いケアを提供していきたいと思っています。私自身、まだまだ至らぬところがありますが、精一杯頑張ります。



社会福祉法人一誠会

<https://www.kairakuenhome.or.jp>

ISO9001 認証取得



職員募集中!

現在一誠会では、職員募集を行っています。募集中の職種や、待遇などは下記のQRコードからご覧ください。

また、一誠会のウェブサイト、SNSは左記のQRコードからどうぞ。



採用情報
詳しくはこちら
check

地域を支える架け橋として5年目へ！

く5周年！ 高齢者あんしん相談センター大和田の歩みと、
これからの役割く

地域を支える高い専門性と情熱を備えた、高齢者あんしん相談センター大和田の職員たち。高齢者の暮らしを守り、地域支援をリードする、心強いプロフェッショナル集団です。



高齢者あんしん相談センターは、介護・医療・福祉など、さまざまな分野をつなぎながら、高齢者や家族の不安や悩みに対して適切な支援につなげる地域の拠点です。介護予防支援の実施や相談対応のほか、多職種との連携を通じて地域全体の支援体制の強化に取り組んでいます。

今後も、地域の多様なニーズを的確に把握し、制度

安心して話せる場所がここに。どんな相談も受け止める、あたたかな窓口です

の狭間にいる方への支援、社会資源の開発・連携強化、そして住み慣れたまちで最後まで安心して暮らせる仕組みづくりが求められています。

地域の「気づき」をつなげる相談窓口として、さらに信頼される存在を目指して歩みを進めてまいります。

左のQRコードより、八王子市高齢者あんしん相談センター大和田の公式X(旧Twitter)もぜひご覧ください。



速報！

去る3月8日(土)、地域の方々
 をお迎えして開催した第二借楽園
 ホームの「芋煮会」の様子が、3月
 28日付の東京新聞に掲載されました。
 記事では、地域行事ならではの
 温もりや交流の楽しさが丁寧に紹介
 されていました。

日頃の取り組みが広く報道されたことは、地域との結びつきや一誠会の信頼性を高め、開かれた福祉の実現に向けた大きな前進となりました。

—企画・制作—
東京新聞メディアビジネス局

**社会福祉法人一誠会
第二創設部会ホーム学習会**

3月18日(土)、八王子市の第二創設部会ホームで、おひげ学習会が同部会として、地域生員、施設利用者および家族が参加した。

社会でより実用と社会福祉法人一誠会常務理事の野島生貴理事長からの挨拶ののち、おひげ学習会によるおひげカラー・エグザストや髪ひきの体験活動、ファッション・アクセサリーなどがあり、多くの参加者が楽しんだ。また、エグザスト1箱につき2点、低価格での提供や地域生活を支える材料草の草刈完全実施報告、施設イベントの紹介。

紙面から伝わる、地域とのやさしいつながり

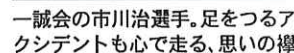
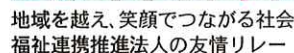
共栄会通信

く地域を越えた連携で走る連携推進法人の交流と挑戦く

去る2月9日(日)、第75回全関東八王子夢街道駅伝が開催され、一誠会も加盟する社会福祉連携推進法人として、連携する岐阜県中津川市の五常会および北海道函館市の戸井福祉会と合同チームで出場しました。

全国から約2,000人が参加する、この伝統ある大会において、一般男子の部では272チーム中191位と健闘しました。

普段は交流の少ない法人同士がつながり、広域的な連携の力を実感する貴重な機会となりました。



感謝と挑戦 開設1周年の節目に

高 齢者在宅サービスセンター中野も4月をもって1年が経ちました。

この1年は、様々な課題やサービス内容の充実化を模索してきました。振り返ると、あっという間でしたが、ご利用者のニーズに対応するためのケアの創意工夫や、職員のサービス向上への意識の高さなど、大変満足のいく形だったと感じています。

ただ、この状態に満足せず、さらに上を目指し、八王子市で、「デイサービスといえば、高齢者サービスセンター中野」と思っただけのよう、ご利用者、ご家族、地域の皆さまにご指導・ご鞭撻をいただきながら、笑顔あふれる素敵な事業所を目指してまいります。

また、4月より、ご利用者の定員を30名から35名に増員し、ご利用者のお身体に合わせた入浴機器の導入も行いました。



入浴機器の導入により、要介護度が中度、重度の方も安心してご利用いただけるようになりました



エントランスに、ご利用者が作られた作品を展示するようにしました

Column ①

初宿八王子市長来訪



1時間という限られた時間の中で多くの意見を聴いていただきました

去 る2月17日(月)、第二偕楽園ホームに、八王子市長の初宿和夫様が高齢者いきいき課の職員の方々とともに視察として来訪されました。

今回は「市長とのふれあいトーク」の企画であり、法人の全事業所から各職種が参加し、要望や各事業の現状などを市長にご聴取いただきました。

Column ②

実践研究発表大会



この大会の目的の一つとして、職員の育成も視野に入れた法人間の職員交流があります

去 る3月1日(土)、偕楽園ホームにおいて、社会福祉連携推進法人一五戸共栄会に参加する社会福祉法人一誠会、五常会、戸井福祉会の各事業が参加する実践研究発表大会が開催されました。8題の口演発表が行われ、リモートでも発表を行いました。

「物価高騰に伴う
介護業界の懸念」

社会福祉法人一誠会
第二偕楽園ホーム
地域福祉部 部長

高橋 毅

昨今の日本のみならず、世界規模における物価高騰の波は、例外なく介護施設等で提供される食材や医療用品、光熱費にも影響を与え、運営コストの上昇という形で収益を圧迫しています。また、介護業界における人材不足は、恒常的な課題となっており、超高齢社会によって一層深刻化しています。

さらに、内閣府の『令和元年度高齢者の経済生活に関する調査結果』によれば、高齢者の支出項目のうち「保健・医療関係の費用」は33.1%と、食費(59.4%)に次いで高く、生活困窮による「介護サービス控え」も懸念されています。

これにより、高齢者本人だけでなく、家族への負担も無視できない状況となっています。

これらの課題解決に向け、業界ではICTの導入による職員負担の軽減や運営コストの見直しが進められています。また、この事業所のサービスにはお金を払う価値がある」と実感していただくことが重要です。

Green Days



社会福祉法人一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2025.5 Vol.131

Contents

02 特集

地域を支える架け橋として5年目へ!
～5周年! 高齢者あんしん相談センター大和田の歩みと、これからの役割～

03

地域交流“芋煮会”が東京新聞に掲載される
社会福祉連携推進法人

04 トップリレー

社会福祉法人一誠会
第二偕楽園ホーム 地域福祉部 部長
高橋 毅

05

from 八王子市高齢者在宅サービスセンター 中野
05 Column ①・②

偕楽園ホーム

06 from 特別養護老人ホーム

07 from 居宅介護支援事業所

初音の杜

08 from デイサービス

09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

10 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所

11 from 訪問看護ステーション

12 from 企業主導型保育所いらくえん

13 八王子市高齢者あんしんセンター 大和田
地域公益活動/苦情の窓

14 ご寄付・ボランティアのご紹介
私のボランティア活動
理学療法士の健康豆知識

15 介護の相談箱/編集後記

16 ロコの部屋/職員紹介～注目の人～
イベントスケジュール
地域交流会・地域福祉研修の開催

発行/社会福祉法人一誠会

〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地

TEL: (偕楽園ホーム) 042-691-2830

(初音の杜) 042-691-8289

(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913

(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

from

偕楽園ホーム 居宅介護支援事業所

日常業務の効率化と、業務負担の軽減に大いに活用させていただいています



私たち居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、介護認定を受けられた方に対して、可能な限り住み慣れた地域、住み慣れた住まいにおいて、その有する能力に応じて自立した生活を営むことができるように、介護保険制度に基づいて支援業務にあたっています。

ケアマネジャーガイドラインが 新しくなりました

私たち居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、介護認定を受けられた方に対して、可能な限り住み慣れた地域、住み慣れた住まいにおいて、その有する能力に応じて自立した生活を営むことができるように、介護保険制度に基づいて支援業務にあたっています。

令和7年には団塊の世代のすべての方が75歳以上となり、さらに10年後には八王子市で80歳以上の人口が第一のピークを迎えるといわれています。

このガイドラインには、支援の手続きや段取り、よくある疑問などの回答例も記載されており、ケアマネジャーを実践する際には、強い味方となる1冊です。



ケアマネジャーの根幹となるケアプランの質が高められ、自己点検に活用させていただきます

令和7年には団塊の世代のすべての方が75歳以上となり、さらに10年後には八王子市で80歳以上の人口が第一のピークを迎えるといわれています。

令和7年には団塊の世代のすべての方が75歳以上となり、さらに10年後には八王子市で80歳以上の人口が第一のピークを迎えるといわれています。

【偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中！

1カ月あたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和田、川口、中野まで伺います

◎対象となる方：要介護1以上

問 社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム

〒192-0005 八王子市宮下町983番地
TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、並木

ご利用料金（1カ月単位の定額制です）

定期巡回・訪問介護費（1割負担の場合）

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	62,952円	6,295円
要介護2	112,357円	11,236円
要介護3	186,558円	18,656円
要介護4	235,995円	23,600円
要介護5	285,411円	28,541円

※自己負担割合は、所得に応じて1～3割と異なります。

from

偕楽園ホーム 特別養護老人ホーム



市の図書貸出しサービスを活用した図書コーナー。お気に入りの本に触れるひときはご利用者に知的刺激と穏やかな時間をもたらします

特別養護老人ホームにおける日常生活に楽しみを持てる「趣味」活動介護を必要とする方が利用される特別養護老人ホームにおいても楽しみを持ち過ごすことは重要な支援の一つです



はじめは台つたパチンコは好きだったため、台増え、より多くの方に使用していただいています

内閣府の高齢者の日常生活に関する意識調査では、高齢者に「普段の生活で楽しみ」として上位に挙げられたのは、旅行や親しい友人、同じ趣味のひととの交際でした。

偕楽園ホームでは、八王子市図書館の団体貸出しサービスを活用し、さらにパチンコ台を設けています。

高齢者の普段の日常の楽しみは、健康状態によって変化することもあります。そのため、健康状態にかかわらず、施設にいながら、楽しみをもって日常生活を送れるよう様々な取り組みを進めています。

from

初音の杜 グループホーム

訪問美容で認知症ケア

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。ここでは、初音の杜のグループホームが行っている取り組みをご紹介します。



毎月訪問美容の機会を予定しており、ご希望に沿ってご利用できます

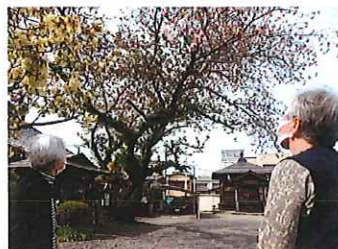
認知症になると、自分で髪をとかしたり身支度を整えることが難しくなり、次第に身だしなみへの関心が減少してしまうことがあります。気持ちもふさがちになり、他者との交流や外出などへの意欲

コミュニケーションを促す効果

グループホーム初音の杜では、毎月ご利用者に訪問美容の機会を提供しています。身だしなみを整えるとともに、髪の毛を切ることやお化粧をすることは刺激ともなり、認知症ケアにもつながります。



毎朝の身支度は、その一日の活動的な生活へと気持ちにつながります



外出や他者との会話は、生活のなかの良い刺激ともなり、認知症の進行予防にもつながります

も低下し、刺激のない生活を送ることで認知症が進行しやすくなるといわれています。髪の毛を整えることやお化粧をすることは、脳の活性化にもつながり、きれいになったことで気持ちも明るくなります。特に女性のご利用者は訪問美容のあとに笑顔が生まれ、会話も弾んでいます。気持ちの変化により活動が活性化し、生活の質の向上や認知症の進行予防にも効果があるといわれています。

毎日の生活習慣の重要性

身だしなみを整えることは、衛生面や感染症の予防、体力の維持など、様々なメリットがあり、介護予防効果も期待できます。

グループホーム初音の杜では、ご入居されている方が、少しでもご自身で身支度を整えていただけるよう、お声かけにも工夫を凝らしながら日々支援を行っています。

from

初音の杜 デイサービス

制作活動の効果について



共同作業での制作活動は、集中力と他者との会話を発揮しての取り組みとなります

制 作活動の特性は多岐に亘りますが、手を動かして何かを作る行為は、リラクゼーション効果があり、制作に集中することで、不安や緊張感を和らげる効果も期待できます。また、制作活動を通じて、他者と協同したり、意見を交換したりすることで、人間関係を深める機会を得られます。さらに、完成した作品を見たときの達成感は大きく、自己肯定感を高めるきっかけにもなります。

2025年「巳年」は再生と健康の一年です



大きな作品の完成品は、視覚からも達成感や喜びに繋がります



完成した作品は、事業所内で大切に飾らせていただいています

デ イサービスセンター初音の杜では、干支をモチーフにした制作を行っています。毎年11月頃より2か月ほどかけて完成を目指しています。干支は、皆さんに馴染みのある文化的な風習の一つです。新しい一年を迎えるにあたり、次の干支に込められた意味もご案内しながら、日本の伝統に触れていただける機会となっています。たとえば、「へび(巳)」は脱皮の象徴とされ、再生や健康を意味することをお伝えすると、ご利用者には、家族や自身の健康と長寿を願う気持ちが増していくように感じられます。完成した作品は、作品展への出展のほか、(株)QOLサービスが発行する「月刊DAY」の「自慢のレク・クラフト大集合」コーナーにも応募させていただきます。入賞を目指しています。

在宅療養を支える私たちの役割
訪問看護で地域をつなぐ

地域の課題に取り組むために会議の前に綿密な情報共有をします



地域包括の職員や担当介護支援専門員から説明を受けます



医師・看護師・薬剤師を含め多職種で課題解決に向けた話し合いをします

第二偕楽園ホーム訪問看護ステーションは、八王子市北部の在宅医療の要として、病気や障害を持つ人々が自宅で安心して療養できるよう、サービス提供を行っています（具体的には、病状観察、日常生活援助、介護予防・リハビリテーション、医療処置など）。

私たち訪問看護師の役割は、普段の訪問看護の提供だけでなく、多職種と連携して支援にあたり、「ご利用

者が住み慣れた場所で安心して暮らし続けること」（地域包括ケアシステム）ができるよう、地域支援の取り組みも行っています。

例えば今回、第二偕楽園ホームがある加住町エリアの地域ケア会議に参加しました。地域ケア会議は、医療・介護・福祉など多職種が集まり、地域のご利用者の実情に応じた難しい課題を協力して解決する話し合いの場です。

訪問看護師も、地域ケア会議でご利用者の日常生活や課題を把握・共有し、多職種と協力して適切なケアプランの作成、必要な資源開発や地域づくり、介護保険事業計画への政策提言などに取り組んでいます。

当事業所では、これからも地域のご利用者が住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、応援し続けていきたいと考えています。

【訪問看護ステーション】正看護師/理学・作業療法士募集中！

1日4件程度の余裕のある訪問で心を大切にしたりハビリをしますが、当事業所には保育園もあり、小さなお子さんのいる職員も多数在籍。一緒にお仕事ができる仲間を募集しています。

☎ 社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1867 FAX 042-691-1870 担当：山口



特別養護老人ホームのレクリエーションとは



仲間と笑顔で過ごす時は一番のレクリエーションタイムです



秋留台公園にみんなでお花見に行きました。外気に触れ森林浴を楽しみました

第 二偕楽園ホームでは、利用者の個々の希望に沿ってレクリエーションを行っています。

毎月、華道・茶道・書道クラブを外部のボランティア講師を招いて開催し、ボランティアの皆様には大変お世話になっており、外部の風を感じて、貴重な機会と捉えています。また、季節ごとの行事や、毎週木曜日に行う保育園のお子さんのリトミック、口腔体操・ラジオ体操など、身体を動かすさまざまな機会も取

り入れています。なかでも二階の高いものとして、四季折々の外出や近隣の散歩・外食の機会を積極的に設けています。施設を飛び出し、戸外の空気を吸って仲間と笑顔で過ごす、そんな時間を大切にしよう、先日はあきる台公園に出かけました。利用者だけでなく、職員の笑顔も施設にとっては大切な宝物です。自然に囲まれた環境の中で、今後も一人ひとりの自己実現を応援してまいります。

短期入所
生活介護事業所施設の周りは自然に囲まれ、そして
温かい地域の方々に守られています

先 日、ショートステイを利用されている方と一緒に、近隣を散策しました。

施設の周りは自然豊かで、様々な野鳥の姿を見ることができます。初めてサービスを体験された方が、「自分の家に帰りたい……」とつぶやかれましたが、散歩をしているうちに、次第に穏やかな表情を取り戻されました。

第二偕楽園ホームのショートステイは、自然と地域に包まれた環境の中で、初めての方でも安心してご利用いただけます。ぜひ一度、体験してみませんか。



加住地区の氏神様である勝手神社の春の祭礼は、桜吹雪の中で開催され、温かい地域の方に囲まれて、昔ながらのお祭りにご利用者も仲間入りです

男性介護者の会を開催しました

3月29日(土)に大和田市民センターにて「男性介護者の会」を行いました。

今回で3回目の開催となりますが、2回目より地域のボランティアさんの協力があり、コーヒーの講座も一緒に行っていたいております。日頃の介護の悩みをなかなか口に出すことをためらう方も多い中、淹れたてのコーヒーを飲みながらの「ほっ」とした雰囲気参加者にとって好評で、毎回時間が足りなくなるほどお話が盛り上がっています。

この会を通じて、同じ悩みを抱えている共通点から友人となる方や、介護の疲れを癒すコーヒーを楽しめる方もいらっしゃると思います。毎回終了後に「次を楽しみにしているよ」と参加者より声をいただき嬉しい限りです。今後もこの会が地域住民の癒しとなり、住民同士のつながりの場となればと思います。



介護者同志が思いを共有し、語り合える場が介護を続ける力を支えます

男性介護者の会
令和7年3月29日(土)
10時～11時30分

講座内容は、季節や旬のコーヒーの種類によって決めます

1 大和田市民センター 調理室
2 男性介護者の会 開催
3 男性介護者の会 開催
4 男性介護者の会 開催
5 男性介護者の会 開催
6 男性介護者の会 開催
7 男性介護者の会 開催
8 男性介護者の会 開催
9 男性介護者の会 開催
10 男性介護者の会 開催

地域公益活動

地域福祉研修

去る、2月14日(金)、偕楽園ホームで令和6年度第3回地域福祉研修を開催しました。今回は、日野市立病院の認知症看護特定看護師である小林多紀先生をお招きし「認知症の高齢者が安心できるケア認知症ケア技法ユマニチュード」というテーマで講義いただきました。

社会福祉連携推進法人の2法人に加え、特養など計9事業所の職員がリモートや来園で参加いただきました。



明日から実践できることにつなげていきたい研修会になり、小林先生にはこの場をお借りして御礼申し上げます

苦情の窓

第二偕楽園ホーム地域密着型特別養護老人ホーム 利用料支払いについての説明不足

ショートステイをご利用されたご家族から、利用料の支払い方法および説明や対応が十分でなかったことに対し、苦情をいただきました。

利用開始時の説明や請求書送付時の丁寧な案内が不足していたうえ、その後の電話対応でも伝言がうまく伝わらなかったことなどが、不審に感じられたと受け止め、お詫びしました。

このご指摘を受け、支払いに関して重要事項説明書に口座振替時の扱いを明記し、契約時に丁寧に説明を行うこと、請求書送付後も途中経過をお伝えし、不安にならないよう配慮するよう改善しました。



新年度スタートとこれからの保育事情



暖かい日差しの中、季節を感じながら戸外でたくさん遊んでいます



人工芝の園庭は、転んでも痛くないので安心して走れます



今年度から地域の子育てひろば事業に参入しました。月1回まだ園に通っていない親子と触れ合いながら子育て支援をしています

新年度が スタートしました！

今年は新入園児0名と、少し寂しい新年度の幕開けとなりました。

企業主導型保育所は、2016年に始まった国の事業で、設置基準を満たせば認可保育所並みの運営費助成が受けられる制度でした。

しかし、少子化の影響で厚生労働省によると保育所利用数は2025年をピークに減少に転じ、経営が困難になることも見込まれています。これが「保育所の2025

年問題」と呼ばれています。八王子市でも一部地域を除き、待機児童はほぼ解消されています。

小規模保育園だから こそできる取り組みを

感染症対策や子どもの体調管理に気を配り、一人ひとりの成長や生活環境に合わせた丁寧な保育を心がけています。

季節行事や遊びと一緒に楽しみ、保護者の皆様には日常保育の様子を伝える動画配信や、ゆっくり話せる催しも企画しています。

また、地域の皆様には広報紙の配布や育児相談、一時保育、子育てひろばへの出張保育なども行い、子育て支援の充実を目指しています。SNSの発信も強化していますので、ぜひご覧ください。

最後に、当園には経験豊富な保育士、栄養士、早期発達支援士、音楽療法士が揃っており、併設の高齢者施設との交流や0・1・2歳児の異年齢保育も特徴です。どうぞ遊びにいらしてください。



園児募集中 0歳から2歳

介護・医療従事者の変則的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談)、1日4～5時間、週2～3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

産休明け～満1歳未満 8:30～16:00
満1歳以上 7:30～16:30 ※保護者の勤務時間による

アレルギー・障害児保育: 応相談
延長保育 18:30～20:30: 要相談 (別途料金がかかります)

社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1868 メール: hoiku@kairakuenhome.or.jp

